

# 年間行事

- 1月 昭とおもしろ遊び塾
- 3月 くらわんか祭り  
くらわんCAR IN はさみ
- 4月 中尾山「桜陶祭」  
4月29日～5月5日  
はさみ陶器まつり
- 8月 はさみ夏まつり
- 9月 鬼木「棚田まつり」  
JR・ウォーキング
- 10月 豊稷太鼓祭り  
畑ノ原まつり  
中尾山秋陶めぐり
- 11月 はさみ炎まつり
- 12月 皿山「器替まつり」



陶郷・中尾山



陶郷・中尾山の桜陶祭  
(4月第1土曜・日曜日)



棚田米



日本棚田百選の地・鬼木棚田



鬼木棚田まつり(9月23日)に花を添える案山子群



鬼木加工センターの商品



体験工房



資料展示コーナー

この体験コーナーは、四百年もの伝統をもつ波佐見焼の陶磁器づくり、その技と文化をもっと広く、長く伝えていくためのコーナーです。波佐見焼を見て、触れて、そして作ってみてください。新しい魅力と楽しみに、きっと出会えます。

団体による見学や絵付け・ロクロ体験ご希望の方は、一週間前までに電話やFAXにてお申し込みください。※絵付け・ロクロ体験は有料となります。



◎JR有田駅から車で15分  
◎長崎空港からバスで45分

◎嬉野温泉から車で15分  
◎波佐見・有田I.Cから車で5分

# 陶芸の館

観光交流センター

〒859-3711 長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2

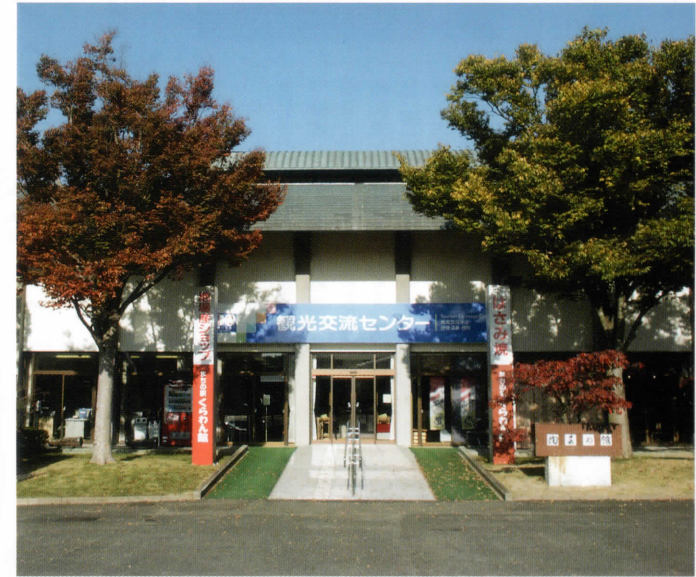
波佐見町観光協会 TEL0956-85-2290 FAX0956-58-2856  
波佐見焼振興会 TEL0956-85-2214 FAX0956-58-2856  
くらわん館 TEL0956-26-7162 FAX0956-26-7163

◎開館時間/9:00～17:00 ◎休館日/1月1日のみ ◎無料駐車場  
※館内(無料)及び町内の史跡や窯元などのガイドも致します。(有料)

<http://www.hasami-kankou.jp/>

# 陶芸の館

観光交流センター



陶芸の館入口でのテーブルコーディネートです。  
これは毎月イメージチェンジいたします。

NAGASAKI HASAMI



陶器まつり

「やきもの」のふるさと  
 今から約四百年前、時の大村藩主・大村喜前が朝鮮から陶工・李祐慶兄弟を伴って帰郷し、彼らが村木郷畑の原に登窯を築き、焼物づくりを始めたのが、波佐見焼の起源と伝えられています。畑ノ原窯跡では、陶器と磁器（青磁・白磁・染付）が合わせて出土しており、肥前地域の陶磁器生産の歴史を知る重要な遺跡です。後に磁器は大村藩の特産品となり、江戸時代後期には日本の生産量を誇りました。  
 毎年四月二十九日～五月五日に開催される波佐見焼陶器まつりのメイン会場「やきもの公園」には、野外博物館「世界の窯広場」があり、「陶芸の館」と合わせて、焼物について広く学ぶことができます。

# やきものと自然と 歴史の町 波佐見



地場産  
コーナー



江戸時代、主に波佐見の窯で焼かれ、大阪は枚方名物「くらわんか舟」で使われたことに由来して、庶民の身近な日用食器を「くらわんか手」と呼ぶようになりました。地場産コーナー「くらわん館」では、江戸時代より綿々と親しまれてきた波佐見焼や、緑豊かな波佐見の地で生まれた特産品などを取り揃えています。

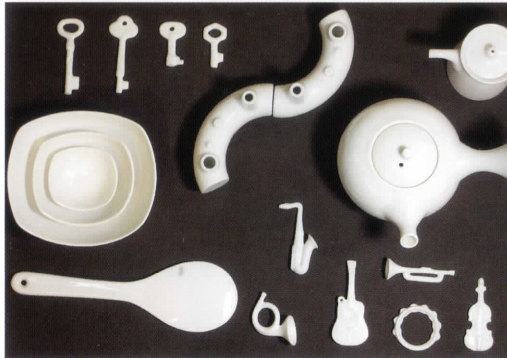
# くらわんか



畑ノ原窯跡



世界の窯広場



息づく歴史  
 約四百年の間、焼物の里として歴史を重ねてきた波佐見には、古窯跡以外にも貴重な文化財が数多く残っています。「皿山人形浄瑠璃」は、享保の大飢饉で焼物が売れず、人々が飢えに苦しんだ折、西彼杵半島や五島・平戸へ興行して食料を得て飢



皿山人形浄瑠璃



穂ノ尾眼鏡橋

えを救ったのが起源といわれ、県無形民俗文化財に指定されています。その他、陶石・焼物などの重い荷を運ぶため架けられた石橋「穂ノ尾眼鏡橋」も残されています。

